

情報公開文書

当院の倫理委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となる方から同意を頂くことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。

なお、本件について拒否される場合やご質問がある場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。

1. 実施内容	X 線消化管検査において、ガストログラフィン®経口・注腸用の代替薬としてイオパミドール注を使用する。
2. 対象となる方	ヨード系造影剤を用いた X 線消化管検査が必要な患者
3. 実施期間	承認日 2026 年 6 月 18 日～当院への供給が再開されるまで
4. 概要	【目的・意義】 消化管に病変が疑われる場合、ヨード系造影剤を用いた検査が必要となります。しかし、国内で唯一、経口・注腸投与の適応を有する「ガストログラフィン®経口・注腸用」の当院への供給が停止しました。そのため、医師が必要と判断した場合には、日本では適応外使用ですが、米国・英国では経口・注腸投与が認められているイオパミドール注を使用します。 【想定される不利益と対策】 イオパミドール注とガストログラフィン®経口・注腸用は同じヨード系造影剤です。消化管からの吸収は極めて少ないですが、ガストログラフィン®経口・注腸用と同様の副作用が想定されます。投与後すぐから短時間の間に、アレルギー反応が出ることがあるため、投与後は特に皮膚症状、呼吸器症状、循環器症状の有無などを観察し、副作用の早期発見に努めます。ごくまれに数時間から数日後（多くは 2 日以内）に、発疹、かゆみ、むくみ、吐き気、のどのイガイガ感、咳、冷や汗、動悸、脱力感、めまいなどが現れる事があります。副作用が生じた場合には、症状に応じて適切な治療および対応を行います。
5. お問い合わせ先	マツダ（株）マツダ病院 倫理委員会事務局 電話：082-565-5000（代表）